

平成 28 年度 第 6 回地区懇談会（豊井 1 班・旗岡 1・2 班）の報告

1. 日 時 平成 29 年 2 月 22 日 10 時～11 時 30 分
2. 場 所 下松市勤労者総合福祉センター 研修室
3. 参加者 豊井 1 班（清水班長） 4 名 旗岡 1 班（松永班長） 8 名
旗岡 2 班（矢野班長） 3 名
官田理事長 村岡局長 白木職員 向井職員 土田理事 波多野理事
4. 議事
 - ① 司会者挨拶（旗岡 1 班 松永班長）
 - ② 理事長挨拶
 - ・下松市シルバー人材センターの近況を説明
会員の減少、そして契約金額も減少している。
定年制の延長また年金開始年齢 65 才が原因で新規会員の確保が難しくなっている。
就業機会創出員、就業開拓推進員を配置、ボランティア活動でチラシの配布等の広報活動を役職員・会員が一体となり今後も推進していきたいのでご協力をお願いします。
 - ③ 事務局長
理事長の挨拶にもあったように会員の皆様に協力をお願いします。
 - ④ 総務委員会からのお願い
 - ・当センターの現状と課題についての説明
会員の減少に歯止めがかからないのが現状である。
また国からの補助金の減少と受託事業の減少で受取事務費が減少したため、運営費が減少、事務局では、業務の見直しと改善による業務の合理化が進められていますが、限界がある。
今後もセンターの事業継続・発展していくためには、会員の拡大と就業機会の拡大を図ることが大きな課題となっている。
この問題に対処するには、私たち一人ひとりが新会員を誘い会員を拡大することが重要である。
新年度から新入会員紹介制度を設け、会員拡大への取り組みの準備を進めている。会員皆様のご理解とご協力を頂き、新会員の勧誘と就業情報の提供と併せてセンターの基本理念である自主・自立・共働・共助のご理解をお願いします。
 - ⑤ 自己紹介
各自近況報告
 - ⑥ 質疑応答
 - ◎ 下松のある地域の休耕田（耕作放棄地、雑木林となっている場所）を開墾し直し四季折々の農作物を生産して田園風景を取り戻したいと思うが同意して頂けるのか？
 - ⇒ シルバーでやっていくには色々な問題があり、理事会での承認が必要となる。
 - 上記意見に賛同できるが、シルバーは会員に就業機会を提供するのが基本です。
 - ⇒ 畑が出来れば利用できるのか？出来たら利用したい（という意見もあった）

- ◎シルバーはどんな仕事をしたら利益があげられるのか？
除草、草刈り、剪定で、依頼しても日にちがかかると言う声を聞く。
⇒ 市民の皆様の要望に答えられるよう頑張っている。
お受けする時に何月でないと出来ませんとお客様に了解して貰っている。
⇒ 上記以外家事援助、介護など、その他の仕事との優劣はつけられない
⇒ シルバーの仕事は、請負、委任、派遣ということだが、65才で年金が支給されることとなり企業での働き方が変わってきている。
民業圧迫という意見も出てきて厳しくなっている。
⇒ 建物管理の希望も多いが、経験してみると仕事の内容がなかなか厳しいものがある。
- ◎班長からの配布物を配っても要らないという人もいるが、皆さんはどう思いますか？
⇒ 意見なし
- ◎シルバーが出来る剪定の高さはどうなっているのか？
⇒ 1.5mまでで脚立を使えばもう少し高くてもよい。高所作業では命綱を着ける等を安全就業基準で確認してください。
- ◎就業に対する仕事が年々減っているが、そのあたりの危機感は？
⇒ 各家庭へチラシ配布等し会員への就業機会を増やす。
- ◎剪定、除草の金額が高いとの声があるが？
⇒ 依頼を受け見積もりを実施し、依頼者に納得して頂いたうえで仕事を受けている。